

各位

地域交通の未来を支えるために
遠州鉄道が「浜松みらいっこ」でバス整備士体験プログラムを初開催
～小学生に公共交通を支える仕事の魅力を伝える～

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中央区旭町、社長：丸山晃司、以下「遠州鉄道」）は、浜松市が実施する小中学生向け職業体験事業「浜松みらいっこ―地元企業の技術・ノウハウを学ぼう！―」の一環として、2026 年 8 月 7 日（金）、小学 4～6 年生を対象に「バスの安全を守る仕事を知ろう―バス整備士体験プログラム―」を開催します。遠州鉄道が「浜松みらいっこ」で小学生向けのバス整備士体験プログラムを実施するのは、今回が初めてです。

近年、公共交通を支える担い手不足が社会課題となる中、地域交通を将来にわたって維持していくためには、次世代を担う子どもたちに、公共交通の役割やそれを支える仕事について知ってもらうことが重要です。

本プログラムでは、実際のバスや整備工具、診断機に触れる体験や現役整備士との交流を通じて、公共交通の安全運行を支える仕事の役割や魅力を伝え、子どもたちが地域交通への理解と関心を深めるきっかけをつくります。

記

1. 実施の背景

公共交通は、通学・通勤・通院・買い物など、地域の暮らしを支える重要な社会インフラです。一方、全国では公共交通を支える担い手の不足が深刻化しています。国土交通省の「国土交通白書 2025」によると、バス運転者は令和元年度から令和 4 年度までの 3 年間で約 2 万 4 千人減少しており、地域住民や観光客の移動手段を確保する観点から、運転者の確保が喫緊の課題とされています。また、安全運行を車両面から支える自動車整備士についても、将来にわたる人材の確保・育成が求められています。

遠州鉄道では、子どもたちに公共交通を支える仕事の役割や魅力を伝えることが、地域交通の未来を支える第一歩になると考えています。本プログラムを通じて、公共交通への理解と関心を育み、将来の職業選択の幅を広げるきっかけを提供します。

※出典：国土交通省「国土交通白書 2025」第 3 節「産業の活性化」2「自動車運送事業等の動向と施策」

2. 開催概要

名 称：バスの安全を守る仕事を知ろうーバス整備士体験プログラムー

日 時：2026年8月7日（金）

第1部 9:00～10:15

第2部 11:15～12:30

会 場：遠州鉄道株式会社

遠鉄自動車整備センター

（浜松市中央区初生町1106-4）

対 象：小学4～6年生

参加予定人数：各回14名、計28名

参 加 費：無料

※参加申し込みは終了しています。



3. プログラムの特徴

実際のバスや整備工具、診断機を使った体験と現役整備士との交流を通じて、安全運行を支える仕事の役割や魅力を学びます。

（1）バス整備士の仕事体験



①診断機を使った バスの故障診断体験

タブレット型の診断機「スキャンツール」を使い、バスの故障箇所を特定する流れを体験します。



②ホイールナットの点検・ トルクレンチ締付け体験

大型の工具「トルクレンチ」を使い、バスの安全を支えるホイールナットの締付け作業を体験します。



③リフトアップした バスの下回り見学

リフトアップしたバスの下に入り、普段は見ることでできない車両の構造や点検のポイントを見学します。

（2）現役整備士インタビュー

仕事のやりがいや整備士になったきっかけ、安全を守るために大切にしていることなどを聞きます。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

遠州鉄道株式会社 地域共創推進室